

# 都道府県指導者養成研修 がん化学療法チーム研修企画



佐賀大学医学部附属病院

医師：勝屋 弘雄

薬剤師：橋本 宇矩

看護師：池田 光代

MSW：内田 千幸

# 都道府県の情報

都道府県内の総人口	808,821人
がん死亡者数(%)	2,724 人 ( 0.3%)
高齢化率	30.3 %



## 佐賀県の特徴・自慢・所属施設の紹介等

- ・九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツト)がある。
- ・佐賀県東部にがん診療連携拠点病院がない。
- ・他県に隣接しているため他県(福岡・長崎)の病院への受診も多い。
- ・第一次産業(農業や海苔業、水産業、窯業等)従事者が多い。
- ・パーキングパーミット(身障者用駐車場利用証)制度は全国に先駆けて実施された。
- ・合計特殊出生率は1.64で全国九位である。

## 都道府県内のがん患者の状況

がん種	罹患者数	粗罹患者数 (10万人あたり)	死亡者数	死亡率
肺がん	877人	107.0人	546人	0.67%
大腸がん	1073人	130.9人	367人	0.45%
胃がん	957人	116.7人	333人	0.41%
乳がん	617人	75.2人	99人	0.12%
肝臓がん	371人	45.2人	255人	0.31%

# がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院 1 施設  
佐賀大学医学部附属病院 604 床

地域がん診療連携拠点病院 1 施設  
佐賀県医療センター好生館 450 床  
嬉野医療センター 424 床  
唐津赤十字病院 304 床

# がん診療病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院 1施設  
地域がん診療連携拠点病院 3施設  
県の指定病院はなし

緩和ケア病棟を有する医療機関 5施設  
佐賀県医療センター好生館  
なゆたの森病院  
嬉野医療センター  
河畔病院  
西田病院

## 都道府県におけるがん医療の特性

- 九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツト)がある。
- 佐賀県東部にがん診療連携拠点病院がない。
- 他県に隣接しているため他県(福岡・長崎)の病院への受診も多い。
- 肝炎ウイルスの流行域であり、肝がんの死亡率が高い。
- 医療機関、病床の数や、基幹病院の配置など、医療資源・医療提供体制は全国と比べて良好。
- 高齢化率は全国を上回って推移し、多くの併存疾患有する患者が多い。
- 65歳以上の単身世帯や夫婦のみの世帯が増加し、ケアギバーが不足
- 「待てない急性期」へのアクセスがよい反面、3次救急への負担、在宅や施設での看取りに課題
- 訪問診療提供可能な診療所数等は全国平均より上だが、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅への訪問が多く、純粋な居宅への訪問は多くない。

同一建物への訪問診療指数 173(全国1位)

居宅への訪問診療指数 66.5(全国36位)

# 都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

## 【現状】

- ・ がん診療連携協力病院がなく、4つの拠点病院を中心に診療がされている。
- ・ 高齢で併存疾患を有するFrailの患者、ケアギバーがいない患者では十分な治療を受けることができない場合がある。
- ・ 化学療法チームは存在しない。

## 【課題】

- ・ がん診療連携協力病院のための専門の医師、看護師、薬剤師の人材育成
- ・ ケアギバーがいない患者に対する訪問看護師の確保と育成
- ・ 化学療法チーム結成による各診療科、各がん診療連携拠点病院のWGや合同研修の開催

# 研修の概要

## 【タイトル】

佐賀県のがん診療にかかわる病院の連携

## 【目的】

佐賀県のがん薬物療法に携わる医療機関の連携と課題の共有

## 【対象者・人数】

県内のがん診療連携拠点病院、がん診療を行っている医療機関のがん薬物療法に関わる医師・看護師・薬剤師・MSW(チームで参加)

参加チーム数: 4チーム

## 【目標】

一般目標(GIO)

各医療機関の化学療法の現状や取り組みを知る

外来での化学療法を行っていく上での課題を共有する

到達目標(SBO)

各医療機関や職種の役割を説明できる

職種別、施設別グループワークを通し、化学療法を行う上での問題点を説明できる

共有した情報を元に、自施設内へ情報発信できる

# プログラム

## 1日目

開始	終了	時間	研修方法	内容
10 : 30	10 : 40	10分	オリエンテーション	
10 : 40	11 : 00	20分	施設・チーム紹介	
11 : 00	11 : 20	20分	職種別GW	職種毎の課題
11 : 20	11 : 25	5分	休憩	
11 : 25	11 : 45	20分	施設別GW	施設毎の課題・各施設での活動計画
11 : 45	12 : 05	20分	各G発表	発表・質疑
12 : 05	12 : 15	10分	まとめ	総括・アンケート記入

# 研修の評価

## 【実施評価】

- ・研修会後にアンケートを実施  
→研修参加者(施設別、職種別)、日時、研修時間、研修場所

## 【結果評価】

- ・研修会後にアンケートを実施し、研修会の満足度と学習到達度を評価
- ・研修会終了6か月後にアンケートを実施し、研修会内容の活用度を評価

## 【企画評価】

- ・アンケート項目および主催者側の研修会の進行が適切であったか評価する